

## 編 集 後 記

編集責任者を務めるはずであった私ですが、昨年末付の退職が決まり、6月には何もしないまま責任者を交代してしまいました。ご多忙にもかかわらず、後任をご快諾くださった小林正治先生に心から感謝申し上げます。その私が辞めずに編集後記を書いているのは、本号の特集である大学院GPの専任教員に就任したことによります。折角もうしばらく大学に居させてもらいますので、編集のお手伝いをする許しをいただきました。前田学部長におかれましては連日の激務の中、締切を守ってご執筆いただいたことに感服するとともに感謝しております。また、担当した学会レポートと留学報告に関しましても、執筆者の方々に御礼申し上げます。海外での興味深いお話をご紹介いただきましたので、読者の皆さまに日常から離れた時間を味わっていただければ幸いに存じます。

口腔解剖学 井上佳世子

はじめて歯学部ニュース編集委員をさせていただきましたが、特に、学生さんの卒業にあたっての感想を読ませていただきますと、生き生きとした若さと意欲を感じて、将来に希望が湧いてまいります。今回、原稿が滞ることもなく、写真や承諾書の提出もスムーズにいただき、執筆者の方々には、深く感謝いたしております。

歯周診断・再建学 杉田 典子

大学内で仕事をしてもなかなか学部内の様子が見えないため、愛読する歯学部ニュースが私の情報源です。今回は、編集委員として貴重な原稿を集めさせていただきました。突然でまた大変忙しい時期にも関わらず執筆をお引き受けくださいました先生方や学生さんには感謝の気持ちでいっぱいです。ほんとうにありがとうございました。

歯科侵襲管理学 豊里 晃

平先生の跡を引き継ぐ形で歯学部ニュースの編集委員となったが、依頼した学生あるいは研修医からの原稿を集めるだけなので、さほど煩わしくはなかった。しかし突然引き継ぐことになったため、こちらの不手際で大島先生や小林先生にご迷惑をお掛けしてしまったことを、この場を借りてお詫びしたい。

歯科放射線学 小山 純市

今年1月行われた歯科治療に関するアンケート調査で、治療を受けていない理由を複数回答形式で聞いたところ、治療に行きたい意向のある人では5人に1人が経済的負担を理由に挙げたそうです。世界的に経済不況の嵐が吹き荒れていますが、歯科界にも影響が出始めているようですね。

この度、歯学部ニュース平成20年度第2号(通算114号)を完成させることができました。初めての編集委員でしかも編集責任者という大役でしたが、なんとか責任を果たすことができ安堵しております。これもひとえに編集委員の先生方と原稿の執筆を快くお引き受けいただきました皆様のご協力のおかげと深く感謝申し上げます。本号では、「大学院GPの採択について」、「歯科医師臨床研修必修化のその後」、「新潟大学女性研究者支援室の紹介」という3つの特集を組みました。歯学部の“今”を知っていただくことができることと思います。その他にも、歯学部としての活動を多方面から執筆いただきました。どうか本号を隈なくお読みいただければ幸いです。

組織再建口腔外科学 小林 正治

## 歯学部ニュース

平成20年度第2号（通算114号）

発行者 新潟大学歯学部広報委員会

編集責任者 小林 正治

編集委員 井上佳世子、杉田 典子、  
豊里 晃、小山 純市

印刷所 (株)プライムステーション